学校番号	1101

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	簿記探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校財務会計Ⅰ」　（実教出版）						
副教材等	「完全分類　全経簿記２級商簿」（英光社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「簿記探究」は２年生で学んだ「簿記」をより発展した学習です。
・2 年生で習得した企業の経営活動を記録・整理する技術を用い、実践的・体験的な学習活動を通じて、実務と関連付けながらビジネスに携わる者として、科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応し、主体的に適切な会計情報の提供と効果的な活用に協働的に取り組む態度を身につけます。
・「簿記探究」は、総合的で実践的な学習が中心ですが、授業時間が「簿記」の半分しかありません。そこで、授業後には取引と帳簿のつながりやその意味を復習によってしっかり把握する必要があります。しっかり準備して、次の授業に臨むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・ビジネスのさまざまな場面で役立つ実務に即した知識と技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
ビジネスに携わる者として、実践的・体験的な学習活動を通じて、科学的な根拠より創造的な課題に対応するとともに、会計的な側面から企業を分析する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
企業会計について、実務に即して体系的にその仕組みについて理解し、会計情報の提供と活用に必要な能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、ビジネスのさまざまな場面で役立つ実務に即した知識と技術が身についている。	・企業会計をはじめさまざまな知識・技術を活用し、実務に即して会計処理の方法の妥当性を見出すとともに、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫して課題に対応し、企業の実態を分析する力が身についている。	・会計責任を果たす者として企業会計について主体的に学び、組織の一員として自己の役割を認識し、他者と信頼関係を構築し積極的に関わり、適正な会計処理、会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	簿記の復習と取引の記帳	・簿記一巡の流れ （簿記の復習） ・帳簿決算 ・財務諸表の作成 ・流動資産 ・固定資産 ・純資産 ・損益計算 ・伝票起票、集計表作成と勘定記入 ・商品有高帳 ・精算表	ａ：帳簿決算、資産、純資産、その他伝票起票など作表についてビジネスを関連付けて理解し、計数的に把握し、適切に処理することができたか。 ｂ:資産・負債・純資産・収益・費用の意味と分類を思考し、それぞれの区分を適切に判断し、表現できたか。 ｃ：　会計処理について主体的に学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的に取り組む態度が見られたか。	確認テスト ワークシート 副教材	確認テスト ワークシート 教材	振り返りシート 課題
	勘定の流れと財務諸表	・投資その他資産 ・剰余金の配当等 当期純損益の計上 ・本支店会計 ・期首・期末貸借対照表と各種元帳から金額算定 ・合併損益計算書の作成 ・合併貸借対照表の作成	ａ：　投資その他資産、当期純損益、本支店会計、合併財務諸表など記録・計算・整理について発展的な技術を身につけたか。 ｂ:ビジネスの諸活動について、簿記では何を記帳するかの判断ができるか。 ｃ：　投資その他資産、当期純損益、本支店会計、合併財務諸表などに関心を持ち、その記帳法の発展的な学習を積極的に進めようとしているか。	副教材 ワークシート	確認テスト ワークシート 副教材	振り返りシート 課題
後期	総合記帳のまとめ	・総合記帳演習 ・仕訳帳、総勘定元帳 ・合計残高試算表、精算表、繰越試算表、損益計算書、貸借対照表 ・現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳、支払手形記入帳、商品有高帳、売掛金元帳、買掛金元帳	ａ：　伝票の起票、集計・転記が適切にできるか。 伝票の意味と作成方法を理解し、適切に記帳しているか。 ｂ:入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるか判断し、記帳の合理化を考えることができるか。 ｃ：　伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしたか。	確認テスト 教科書 ワークシート	確認テスト 教科書 ワークシート	帳簿綴り 振り返りシート

	総合記帳のまとめ（コンピュータ）	・会計ソフトウェアの活用 ・伝票 ・現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳、売掛金元帳、買掛金元帳、商品有高帳 ・残高試算表、財務諸表	a： 取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解し、記帳の意味とつながりを把握しながら、適切に作成できるか。 b：取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによって、その活用方法について考え、記帳の合理化を達成する方法を考えることができるか。 c： 会計ソフトウェアの活用に関心を高め、その運用方法について考え、帳簿と帳簿のつながりを把握し、積極的に学習しようとしたか。	確認テスト 教科書 ワークシート	確認テスト 教科書 ワークシート	振り返りシート レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度